

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

年 月 日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地4

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
キョーリン製薬グループ工場(株)滋賀工場  
滋賀工場長 辻本 太一

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) ]  
[事業者行動報告書を作成 ]  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	キョーリン製薬グループ工場株式会社 代表取締役社長 中村 健一
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都千代田区大手町一丁目3番7号

1 事業所の概要

事業所の名称	キョーリン製薬グループ工場(株)滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町笹が丘1番地4					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	5	2	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	医薬品の「製剤」「包装」「試験」における製造受託					
従業員の数	153	人	作業時間	7.45	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	20	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	50	台
				照明設備	1500	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2025	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2029	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

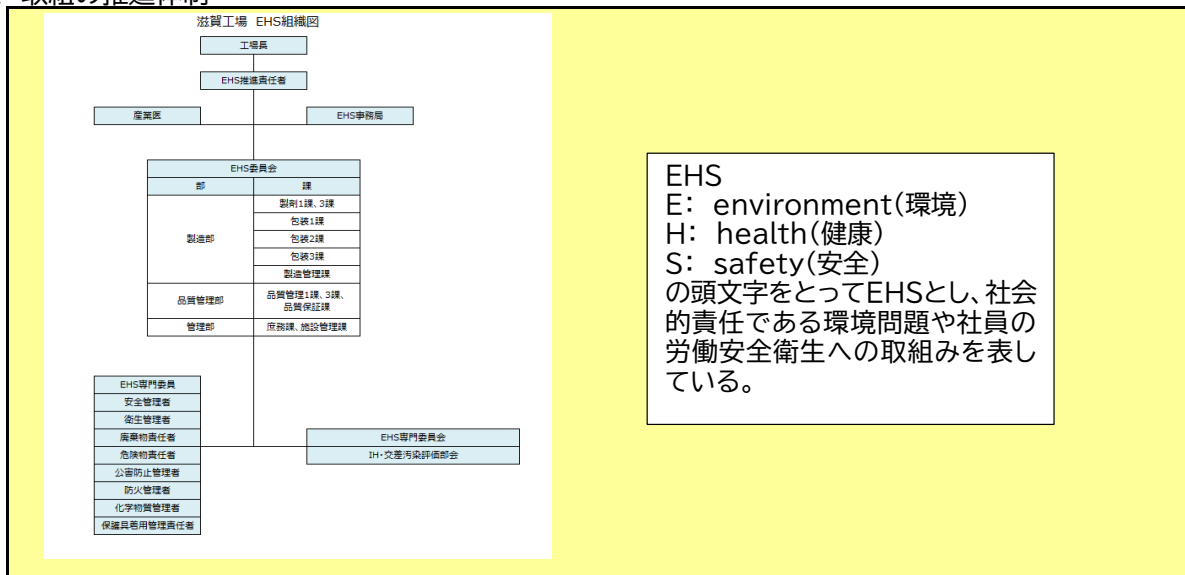
1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

当社はキョーリン製薬グループの一員として、医薬品製造の受託企業としての責務を果たすため、すべての企業活動において企業行動憲章に基づき、EHS(環境・安全・衛生)マネジメントシステムを経営の重要な柱と位置づけ、全社的に取り組んでいます。

当社の主な事業は工場の操業であり、「地球温暖化の防止」「資源の保護」「自然環境との調和」を重点テーマとして、環境保全および汚染の予防に積極的に努めています。

環境マネジメントシステム(ISO14001)の考え方を十分に理解し、Plan(計画)－Do(実行)－Check(点検)－Action(改善)のサイクルを継続的に実践することで、EHSの改善活動を進め、EHSマネジメントシステムの着実な定着と向上を図っています。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

キョーリン製薬グループ工場株式会社では、キョーリングroup全体の方針に基づき、環境問題を人類共通の課題と考え、次のような取り組みを積極的に進めている。

省エネルギー・省資源の推進、廃棄物の削減、化学物質の適切な管理強化、環境負荷物質の削減、限りある資源の有効利用

これらの取り組みにあたり、環境保全や汚染の予防を目的として、具体的な目標を定め、その達成状況を定期的に見直している。

滋賀工場では、CO<sub>2</sub>削減や廃棄物削減といった課題に、事業所全体で取り組み、2019年9月に環境マネジメントシステムであるISO14001の認証を取得した。また、省エネ法に基づく「第二種エネルギー管理指定工場」にも指定されている。

さらに、設備投資においても低炭素化を目指し、以下の更新を実施している：

研究所棟のヒートポンプチャラーを、経年劣化に伴いモジュールチャラーへ更新  
経年劣化したコンプレッサー2台を、最新型へ更新  
蓄熱冷凍機およびスクリュウチャラーを、モジュールチャラーへ更新

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	コンプレッサー1号機更新	2025年	
2	設備導入	工場棟・事務棟LED化工事	2024年～2027年	
3	設備導入	事務所棟空調機のアコン置き換え工事	2025年～2029年	
4	運用改善	工場棟一部加湿蒸気送気停止による蒸気ロス低減	2022年度～2029年度	継続
5	運用改善	新規導入した冷凍機の運転効率化	2022年～2029年	継続

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>目標 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の活動と存続に必須の要件として主体的に行動し、「2050年カーボンニュートラル」の実現に挑戦 杏林製薬グループ全体で、2030年目標：CO<sub>2</sub>排出量を2030年度に2015年度比46%削減する。</p> <p>-----以下、毎年の運用----- 滋賀工場の再生可能エネルギーの継続的な使用と、使用エネルギー削減に向けた計画の立案および運用</p> <p>1. CO<sub>2</sub>排出量の削減 2015年度比で7.5%以上の削減を目指す(再生可能エネルギーの購入による削減効果を含む)</p> <p>2. エネルギー使用量の低減 日常業務を通じて環境負荷を抑え、エネルギー使用原単位を前年度比で0%以下(維持または削減)にすることを目標とする</p>	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度	(2029)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,229					
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,329					
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	4,329					
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	再生可能エネルギー(電力)の購入	2025	使用電力の10%分を購入
2	再生可能エネルギー(ガス)の購入	2025	前年度使用実績の10%分を購入
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	キョーリン製薬グループ全体で2030年度目標対2015年度比-46%を目指し、適宜環境対策委員会を開催
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度	(2029)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	4,186					
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>	4,186					
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.419					
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度	(2028)年度	(2029)年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
		( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
保有車輛の数	台					
上記のうち 次世代自動車等の 数	台					
特記事項						

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				